

## 英語の読解力を育て、長文かする大学入試・高校入試に備えよう

— 国語と同じように「英語の読解力」を育てよう —

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：英語を含む大学入試、高校入試の問題を、試験時間内に読み終えない受験生が、数多く存在するようです。特に、英語の読解力を身に着けるには、どうしたらよいでしょうか。

A：(1) 英語だけでなく、大学入試、高校入試、中学入試など、出題されるすべての教科の「入試問題」の「本文」「設問」「選択肢」などの「分量」が多く、「試験時間内」に、全部を「論理的」「分析的」に読み終え、正解を導くことが難しい受験生が多いようです。これは、「読解力不足」の問題と考えます。



(2) 学校や学習塾・予備校の「国語」の先生は、「国語の教科書・テキスト」をしっかりと「予習」「復習」「定着」をすると同時に、「過去問を中心に問題練習」するようご指導しています。

(3) しかし、各教科の「教科書」と「問題練習」だけでは、中学入試・高校入試・大学入試に耐えられるだけの「読解力」は、十分には身に着かないようです。そこで、「辞書」「新聞」「読書」「図書館」に慣れ親しみ、「読解力」を身に着けるよう、国語の先生だけでなく、多くの教科の先生方も、口を酸っぱくしてご指導していらっしゃいます。

(4) 同じように、長文化する英語の「大学入試」「高校入試」問題を、「試験時間内」に、すべてを正確に読み解くには、「英語の読解力」が求められます。

(5) 英語についても「教科書」と「問題練習」だけでは、大学入試に耐えられるだけの「英語の読解力」は、十分に身に着きません。よく考えれば、高校入試も同様です。

(6) まして、英検、TOEIC、TOEFL、GTEC、特に、2025年度からスタートする OECD の PISA 「英語読解力テスト」には、到底、太刀打ちできません（2025年度は、日本は不参加）。

Q：では、どうしたらよいと考えますか。

A：(1) 英語の「教科書・テキスト」と「問題集」を用いた勉強は従来通り行うこと（ただし、『発音練習・暗唱』、『書き取り練習・暗写』は、今までにも増して徹底的に行うこと）は当然です。



(2) これに加えて、「国語」の読解力と同様、英語についても、①「辞書」②「新聞」③「読書」④「図書館」に慣れ親しみ、「英語の読解力」を、コツコツ時間をかけ、身に着ける以外ありません。

(3) 「積小為大（せきしょううだい）」（二宮尊徳の教え）、コツコツ、①～④を一つずつ、毎日積み重ねる以外ありません。「国語」と全く同じです。

Q : 「英語の辞書」に親しむには、どうしたらよいですか。

A : (1) 「意味のよくわからないことば」、「読み方がよくわからいことば」に出会ったら、「気持ちが悪い」と考え、辞書（英和辞典、慣れてきたら、できるだけ、英英辞典）を用いて、「発音記号」と「意味」を調べる。

(2) 英単語の「発音記号」「意味」は、必ず、ノートやシートに書き写し、「発音練習」「書き取り練習」、その場で覚え、語彙力を身に着ける。

(3) 「ことばは力」「身に着けている英語の語彙数は力」だからです。



Q : 「英字新聞」に親しむには、どうしたらよいですか。

A : (1) 「英字新聞」を、毎日 30 分以上、第一面からドンドン読む。

① 「英検準 2 級レベル以上」なら、読売新聞の英字新聞「Japan News」がおすすめです。

○ 難関私立高校入試はこのレベルです。

② 「英検準 2 級プラスレベル以上」なら、「Japan Times」がおすすめです。

○ 大学共通テストはこのレベルです。

③ 「英検 2 級レベル以上」なら、「New York Times (Japan Times の中に入っています)」がおすすめです。

○ 難関大学独自入試はこのレベルです。

④ 「英検準 1 級レベル以上」なら、英文経済週刊誌「The Economist」と、英文隔月刊誌「Foreign Affairs」がおすすめです。

(2) 各々の「英字新聞」を、毎日 30 分読み、「気になる記事」を一つ選び、「学校の教科書と同じレベルで精読」する。

(3) <新聞記事、精読の手順>

① 「意味」や「読み方」のわからない語句や表現は、すべて辞書で調べる。辞書で調べたことはすべて書き写し、「発音練習」「書き取り練習」。その日のうちに、全部覚える。

② 「語句」の意味や「発音」がわかったら、「その記事全文」を、スラスラよく読めるようになるまで、「発音練習（音読練習）」「暗唱」。

③ 「発音練習（音読練習）」「暗唱」が終わったら、何も見ないで「書けるようになるまで、書き取り練習（暗写）」。

○ 「毎日 30 分、英字新聞を、一面からどンドン読む」。

○ 「毎日一つ、気に入った英文記事を、徹底的に精読」。時間は気にしない。

Q : 「英語の読書」に親しむには、どうしたらよいですか。

A : (1) 図書館や書店に行き、自分の単語レベルにあった「英語の単行本」を探して手に取り、とにかく最後まで読んでみる。

① 意味や発音のわからないことばは、全部辞書で調べ、「発音記号」と「意味」を書き写し、全部覚える。

② 読み方と意味がわかったページは、「スラスラよく読めるようになるまで、発音練習（音読練習）」「書き取り練習」。



- ③がまんして、いつも一冊は、このようにして、ていねいに、ていねいに、「英語の単行本」を読み続ける。最後まで「精読」する。
- (2) ①いつも一冊は、ていねいに、英語の単行本を読み、同時に、自分の単語レベルにあった「英語の単行本」を、辞書を引かずに、ドンドン好きなだけ読む。
- ②日本語の本と同じように、できれば一週間に一冊、自分の単語レベルにあった英語の本を、毎日読む。
- 「内容が難しいリスニングの基本は、英語の読解力」英語の読書です。
- ③気に入った文章に出会ったら、「英語版・書き抜き読書ノート」に書き写す。
- (3) ①「国語」の勉強に一番役立つのが「読書」であるのと同様、「英語」の勉強に一番役立つのが「英語の単行本の読書」です。
- ②日本語の本を読むのと同じだけの量の「英語の本」を読んで、初めて「英語の読解力」が身に着きます。
- ③「本は最後まで読む」、「本は 6 回読む」ことが大切なと同じように、「英語の単行本も最後まで読む。6 回読む」ことが大切です。
- 「読んでわからないことは、聞いてもわからない」。「内容が難しいリスニングの基本は、英語の読解力、英語の読書」です。

Q : 「英語の読解力」を身に着けるのに、なぜ「図書館」なのですか。

- A : (1) 「英語の辞書」「英語の新聞」「英語の読書」に親しむのには、「学校図書館」「公共図書館」「大学図書館」が最もふさわしいからです。
- (2) 小学生、中学生、高校生のうちから、「学校図書館」、「公共図書館」に慣れ親しみ、「自分の居場所（ホッとできる場所、サードプレイス）」にする。
- (3) 大学生・大学院生になったら「大学図書館」を「自分の居場所」にすることをおすすめします。



Q : 学習塾・予備校・私立学校の経営幹部の先生方に、お伝えしたいことがありますか。

- A : (1) 2000 年から 3 年ごとに行われている、OECD の PISA、15 歳時の学力標準調査 (PISA テスト) は、コロナ禍で 1 年ずれ、2025 年から従来の 3 分野に加え、「英語の読解力」テストがスタート。
- (2) 日本は、PISA の「英語読解力テスト」は、今回はパス。次回、2028 年度に備えるようです。
- (3) そうであるなら、学習塾、予備校、私立学校は、我々の存在を懸け、全精力を傾注し、「大学入試」「高校入試」対策はもちろんのこと、それにも増して、力を合わせ、「PISA 英語読解力テスト」に耐えられるだけの「英語読解力」を育成しようではありませんか。一緒に、がんばりましょう。
- 私塾界と、皆様のおかげさまで、この連載は、今回で 240 回、20 年を迎えることができました。そこで、日本の英語教育の最大課題である、「英語の読解力」大幅アップに向けて、以上の「提言」をさせていただきます。

Q：最後に一言どうぞ。

A：今月も僭越ではありますが、皆様のお役になると思われる本を、ご紹介させていただきます。



- (1) 一冊目は、今月のシェイクスピアです。シェイクスピアの名作「ハムレット」岩波文庫、岩波書店 1949 年 7 月 10 日刊です。英語版は、大修館シェイクスピア双書「ハムレット」2001 年 9 月 1 日刊が極めて便利です。
  - (2) 二冊目は、神長善次著「詩集・生の丈（せいのだけ）」七月堂、2025 年 6 月 18 日刊です。「人生を深め高めてくれる、人と自然が奏でる、知恵と旅路のポエム集」、すばらしい内容。オマーン大使・ネパール大使・昭和天皇陛下の通訳などを歴任した、神長大使の最新作、詩集です。
  - (3) 三冊目は、P・F・ドラッカー著「ネクスト・ソサエティ」ダイヤモンド社 2002 年 5 月 24 日刊です。「歴史が見たことのない未来がこれからはじまる」。「教育ある人とは、学び続ける人」と喝破したドラッカー先生は、「学び直し」に最適。
  - (4) 四冊目は、元・日本エマソン社長・山中信義氏著「成熟した製造業だから大きな利益が上がる」日本能率協会、2004 年 8 月 1 日刊です。「43 年連続増収、47 年連続増配、超優良企業エマソン驚異の経営」。チャールズ・ナイト著「エマソン、妥協なき経営— 44 年連続増収を可能にした PDCA の徹底」ダイヤモンド社、2008 年 4 月 4 日刊とともにお読みください。
  - (5) 五冊目は、日本総合研究所シニアマネジャー、下野雄介著「プロアクティブ人材」KINZAI バリュー叢書、金融財政事情研究会、2025 年 3 月 28 日刊です。「アカデミアとビジネスが共創した VUCA 時代を勝ち抜くための人材戦略」「プロアクティブ人材」の第一人者。
- 20 年間、拙い内容の連載をお読みいただき、ありがとうございました。心から感謝いたします。

2025 年 6 月 30 日記